

## 第 64 次南極地域観測隊企画提案取材募集要項

大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立極地研究所（以下、「極地研」という。）では、2022 年 11 月に日本を出発する第 64 次南極地域観測隊（以下、「第 64 次隊」という。）夏隊に同行し、南極地域観測隊及び南極の自然の取材に基づいて、新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、インターネット等（以下、「メディア」という。）による報道を行う企画を募集します。

南極地域観測には、例年、一般社団法人日本新聞協会を代表して南極地域観測隊への取材を行う同行記者が同行しますが、今回の募集は、それとは別に、独自の視点に基づいた企画を求めて実施するものです。南極地域観測の意義や南極地域観測隊の活動状況の報道のみならず、地球環境問題や国際協力等に関する国民の理解増進、意識向上につながることを期待される提案を求めます。

### 《重要》提案にあたって：予めご承知おきいただきたい事項

- 南極地域観測隊の同行者は、「南極地域観測隊同行者について」（平成 12 年 11 月南極地域観測統合推進本部総会決定）（別添 1）により規定される者であり、予めその規定内容について理解いただく必要があります。
- 南極地域観測は、国の予算で実施されている事業です。本公募実施段階では 2022 年度の国の予算が成立していないため、今後の状況によっては、募集内容の変更、募集中止となる場合があります。
- 本企画の選考後でも、訓練や打合せの状況などを踏まえ、「1. 提案者の要件」、「2. 同行候補者の要件」及び「1 2. 選考後の留意事項」に記載されている条件等を満たさなくなると判断される場合は、選考結果を取り消す、又は同行候補者の変更を求める場合があります。応募書類に虚偽の記載等があった場合も同様です。
- 本企画の選考後の健康判定で、同行候補者の観測隊参加が困難であると認められた時は、同行候補者の変更を求める場合があります。
- 新型コロナウイルス感染症の流行状況等によっては、出発前の隔離措置が必要になる可能性や、旅程が変更（例えば、「しらせ」乗船地がオーストラリアではなく、日本になる等）になる可能性があります。また、観測隊の人数を大きく減らす必要が生じた場合には、同行できない場合もあります。
- 昭和基地周辺の海氷状況が厳しく、「しらせ」の昭和基地沖への接岸に支障が生じた場合には、観測計画全体が縮小・中止となる可能性もあります。その場合、本企画の実施についても当初計画から変更を求める可能性があります。

## 1. 提案者の要件

提案者は、日本に本社を置くメディア関連機関に所属し、企画提案内容に責任を持つことで、全国規模の記事配信、新聞発行、出版、放送等を企画・実施できることを要します。

## 2. 同行候補者の要件

同行候補者は、実際に南極地域観測隊に同行して南極に赴き、現地で取材を行う者で、以下を満たすことを要します。

- ① 取材に基づく記事配信、新聞発行、出版、放送等の実績があること。
- ② 心身ともに健康であり、南極地域での行動に耐えうる体力を有すること。

なお、提案者が同行候補者を兼ねることは差し支えありません

## 3. 提案締切

2022年1月24日(月) 17:00

## 4. 採択予定件数及び同行人数

- (1) 採択予定件数: 1件
- (2) 同行人数: 3名以内

## 5. 同行期間(予定)

2022年11月下旬～2023年3月下旬

(昭和基地での滞在期間: 2022年12月下旬～2023年2月中旬)

## 6. 選考

### (1) 選考方法

極地研内に設置する「第64次南極地域観測隊企画提案取材選考委員会」で選考します。選考は、第一次審査として書類審査を、第一次審査を通過した提案に対し、第二次審査を面接審査により実施します。

面接審査は、提案者を対象に、国立極地研究所を会場に、もしくはオンライン(ZOOM等)で実施します(面接に要する交通費は、各自でご負担ください)。面接審査では、提案内容でご説明いただいた後に、質疑応答を実施する予定です。説明時には、提案書とは別にプレゼン資料等を用いることが可能です(詳しくは面接審査前にご案内します)。

### (2) 選考の観点

提案内容について、以下の観点から選考を行います。

- ① 企画内容が、南極地域観測の意義や南極地域観測隊の活動状況等を広く国民にアピールするものであり、国民の南極地域観測への理解増進に繋がる大きな効果が期

待できること。

- ②企画の実施により、南極地域観測のみならず、地球環境問題や国際協力などに関する国民の理解の増進等への波及効果が見込まれること。
- ③企画の独自性が高く、日本新聞協会から派遣される同行記者による報道とは別の効果が期待できること。
- ④南極の厳しい自然環境と限られた設備の下で企画を実施する上で、企画内容に十分な具体性、実現性があること。

### (3)選考結果の通知

選考結果は、書面にて、2022年1月末に提案者に通知します。

なお、選考結果は、同行候補者が正式に推進本部において同行者と決定した時点(2022年6月頃予定)で、極地研ホームページにおいて公表します。

## 9. 提案方法

必要書類の書類を作成し、提出先まで電子ファイルで提出してください(ファイル転送システムやE-mail添付等により)。

### (1)必要書類

- ① 企画提案取材提案書(様式1)
- ② ①の補足説明資料(必要があれば。様式任意。)
- ③ 南極地域観測隊同行候補者履歴書(様式2)
- ④ 同行候補者の直近の健康診断結果書類(写し。新たに受診する必要はない。)

### (2)提出先

[kofositu@nipr.ac.jp](mailto:kofositu@nipr.ac.jp)(国立極地研究所広報室)

## 10. 提案に当たっての留意事項

- (1)南極地域観測は、国の事業として多額の税金が投入されています。隊員及び同行者一人一人の行動が観測隊の活動結果として推進本部へ報告されます。隊員及び同行者は、極地観測における日本のナショナルチームを構成する誇りと意識を持って任務を遂行するとともに、国民の南極地域観測に対する信頼を損なうことのないよう、自らの行動に責任を持つ必要があります。ついては、観測隊員の公募要項に示されている事項を抜粋しますので提案者及び同行候補者は、事前に理解したうえで応募してください。(観測隊員の公募要項から抜粋)

南極は極寒、強風、文明国からの隔離など厳しい環境であり、南極での行動中は、文明国と隔離された閉鎖社会となり、国内とは異なる条件下におかれることとなります。職務に必要な専門的知識・経験を有することはもとより、心身ともに健康で協調性があり、歴史ある国家事業に従事する観測隊員としての自覚と責任を持てることが条件と

なります。詳しくは、以下を確認し御理解下さい。

①南極地域観測隊員として観測事業に携わることについての説明(別添2)

②南極における医療の現状と限界についての説明(別添3)

(2)昭和基地及び南極観測船「しらせ」で利用できる通信設備には、限りがあります。具体的には以下の通りですので、これ以上の通信設備が必要な場合は、各自で準備、持ち込む必要があります。

1) 昭和基地

①E-mail

添付ファイルも含めて可能ですが、込み合っている場合は送受信に遅延が発生する場合があります。

②映像伝送

編集済みの短い映像であれば、極地研指定の方法で送ることが可能です。ただし、伝送には時間がかかります。詳しく知りたい方は、お問い合わせください。

③放送

昭和基地から生放送をする場合は、週一回程度であれば可能です。詳しく知りたい方は、お問い合わせください。

2) 南極観測船「しらせ」

添付ファイルも含め、1通1メガバイト以内の E-mail の送受信が可能です。なお、通信に要した費用は、提案者に請求します。

## 11. 経費について

同行に要する経費は、すべて提案者側で負担していただきます。必要な経費には、以下のものを含みます。

①航空運賃:成田(羽田)空港からオーストラリアの往復航空運賃(空港施設利用料、空港税等を含む。)

②派遣者の居住地(または勤務先)から成田(羽田)空港までの往復交通費

③「しらせ」乗船中ならびに昭和基地滞在中の食費(約 30 万円)

④昭和基地居住棟施設使用料(320-896 円程度/泊)

⑤「しらせ」乗船中の通信費

⑥身体検査費

⑦冬期総合訓練参加費(約 5 万円)

⑧血液交差試験等の受検のために国立極地研究所へ来所する場合の交通費

⑨観測隊員に準じた衣類・装備類購入費(一部は貸与可能)

## 12. 選考後の留意事項

- (1) 南極地域観測隊員と同等の身体検査を各自で受検していただきます。検査結果を極地研に提出してください。その結果をもとに、極地研に設置する「極地観測隊員等健康判定委員会」において、南極へ派遣できる健康状態か否かを判定します。なお、検査項目は、選考後に別途通知します。
- (2) 健康判定の合格後に、極地研が推進本部に推薦します。推進本部において審議の上、第 64 次南極地域観測隊同行者として、決定・公表します。それまでの間は、提案者や同行候補者による選考結果の公表は厳に控えてください。
- (3) 国立極地研究所が実施する事前訓練及び事前打ち合わせに参加してください。特に、2022 年 2 月 28 日(月)～3 月 4 日(金)に実施する冬期総合訓練(実技中心)及び 6 月 15、16 日に実施する夏期総合訓練(講義等:オンライン予定)に参加し、観測隊の活動計画を十分承知していただく必要があります。また、9 月 27 日に血液交差試験\*と救急救命講習を極地研で実施予定ですので、参加が必要です。

※血液交差試験: 受血者と供血者の血液を試験管内で混ぜて、免疫反応が起こらないか調べる試験。血液型が同じでも不適合のことがある。南極で緊急に隊員同士での輸血が必要になった場合に備え、予め適合性を調べるために実施する。

### 13. 今後のスケジュール(予定)

2022 年

1 月 24 日	応募締め切り
1 月 26 日	書類審査
1 月 28 日	面接審査
1 月末	選考結果通知
2 月上旬以降	同行候補者身体検査(各自で実施し、結果を提出)
2 月 28 日～3 月 4 日	第 64 次南極地域観測隊冬期総合訓練(長野県)
6 月 15、16 日	第 64 次南極地域観測隊夏期総合訓練(オンライン開催予定)
6 月中旬～下旬	第 64 次南極地域観測隊同行者に決定
7 月以降	観測隊全員打ち合わせ(月 1 回程度。オンライン開催が中心となる予定)
9 月 27 日	血液交差試験及び救急救命訓練(実技)のため国立極地研究所へ来所
11 月下旬	第 64 次南極地域観測隊 成田空港を出発 オーストラリアのフリーマントル港にて南極観測船「しらせ」に乗船、南極へ向かう

12月下旬	昭和基地に到着、以降昭和基地を起点に活動
2023年	
2月中旬	昭和基地を出発
3月下旬	オーストラリアから空路帰国

#### 14. その他

##### (1) 問い合わせ先

国立極地研究所広報室

メール:kofositu@nipr.ac.jp 電話:042-512-0655

〒190-8518 東京都立川市緑町 10-3

提案に当たっての企画内容等の相談は随時お受けいたします。

##### (2) 個人情報の取り扱い

本募集に関連して提出された個人情報については、選考の目的に限って使用し、選考終了後は、採用された方の情報を除き全ての個人情報は責任を持って破棄します。

##### (3) 65次隊以降の企画提案取材募集見込み

南極地域観測における企画提案取材の募集は、「しらせ」乗船枠に余裕があり、報道関係者の具体的な同行希望がある場合に実施することとしています。現時点では、65次隊(2023年出発)では、「しらせ」の乗船枠に余裕がない見通しであることから、募集の予定はありません。なお、66次隊(2024年出発)以降の募集については、現時点で未定です。また、越冬隊への同行は、昭和基地における越冬期間中の受け入れ能力の観点から当面募集の予定はありません。